

明治四十二年 元二千五百七十年
 本紙 一牧金二枚 一月間金月五
 定價 金貳圓 郵稅一ヶ月月三號
 月曜日及大祭月の翌日は休刊(日刊)
 廣告 五號路一七字路一行一回金
 料金 五十號路一七字路一行一回金
 發行所 高木久馬
 印刷所 松久一郎
 京師西署附小門通(電話六六二)
 發行所 京城新報社

呼吸の際体中に入る空気中の酸素

此毛細管を通して遂に發光現象を起せるのである、體が自由に發光の度
や、長短や光りの出しかつ量は加減するのは、即ち此呼吸作用と神経に依る
のは、即ち此呼吸作用と神經に依るのは、即ち此呼吸作用と神經に依る
て制御して居るからで、若し此發光空氣
體と體の体内から離れて自由な空氣
中に燃えさるとは絶然光つて居る事に
云つた小兒の惡鬼の例で餘く證據提
げられて居る。

折角饅頭に行つて、美しい饅頭の光り
見ても、其光りが如何いふ理窟から

見られ
 尻の尻
 鐵砂
 糞り
 光つ
 り長
 なが

知らず居ては、一向に無念
 い、之れ丈の事は能く了解して盡く
 が必要と思ふ

日本
 鋸
 刀
 傳

第百廿四番 品半一箱

國

下へ
 が存
 しへ
 とど
 居る
 つて
 た後
 れさうは城の隅を我が家と叫び
 てさア、れ陽や、刀鍛冶の助廣
 も是非前を妾にしたい、金は取
 るも出ずからと云ふので、金を取る
 當世だから、前被様女意氣地な
 夫を捨てし助廣さんめ心に從つた
 いであらうねえ陽や」と言ふそれ
 なかへゝ貞操の女でありますけれ
 を立腹をしまして、陽ちゃん申儀を

1. μ is independent of λ and λ is constant

「ハ、ハ、ハ、ハ」と、何んにも言はず、黙然たてゐるのを致します。――「ハ、ハ、ハ、ハ」とは年をとらないから其様なことをいけれど、少しも餘計金を取つて好服でもした方が好いぢやないかい、エヘ、夫れは道に違ひます。夫の身に横暴態、助廣さんにも似合は

の多少に不

員が光
而して
かかど云
處に送
る、例
せぬ、トント断絶つて逃げて往き

鯛に
 食へたから、わやうさんだぞとばかり
 思つて食へ了つたが、今朝睨が覺めて
 見ると、ね敵が愛へ違入つてゐる居る
 實に怪しからぬ新う云ふ馬鹿な事をせ
 られては、私ア人に顔向けが出来ない
 のし、又貴郎を怨んで如何云
 ますから、妾が如何も妹の本
 て済みませぬし又亡御の夫三
 奴は彼ア云ふ粗根な男でござ
 ら、妾が如何云ふ目に遇ふか
 うし、又貴郎を怨んで如何云



たが後にねえさうは、助魔から金子二十圓貰つた事もあり、晩には助魔が来ると云ふ約束を致した事でございませうから、あつ困つたに如何したら宜からうと左思召考へ頻りに心に痛めて居る中に、日が暮れる間もなく助魔が裏口から這つて来ると、如何思ひましたか。ねえさうは燈火を吹消し闇黒の所で手を取つて裏口から座敷へ引入れまして、夜が明けて助魔が先へ眼を醒まし、不圖見ると、自分が懸まつたねえやうと違つて姉のねえやうと同念て居りますから吃驚して起上るやう、否や醒て居るたうの模様を取つて押へる、ねえさうは驚かし眼を覺し、「旦那様面目次第もござい

サア此事には分岐の途があるか、に依つては私も男だ、此儘には誠に如何だく」「旦那さん誠に面目もございませぬ 助 吾、欺してて、面目次第もございませぬものななんだ私も人に對して面目がない。何したに宜うございませう、到底男に恥辱を與へたな

は立ちませぬのが、是事には段々年々ある事若し分岐が立ちませぬければ貴郎の御存分になりましたさうさア、通ひ御聞き下さいませ 助 アア、妹を言ひませぬさ

「ハイ實は貴君は、二十圓拜借を致しまして妹に金子五圓し段々と説得しましたなが、飛んでも

仔細に事をすから知れませぬから、妹が思
嫌だと言ふを、無理に金子を持ち
せて歸へしましたが、彼で貴原へ申譯
がございませぬから、如何か自分で算
段をしまして、二十圓の金子に纏めて、
邸に御返還し申した上で、御謝罪をす
る心算でございしましたが、妹の方でも
今直ぐと云つては、間違へませぬし、
又假令妾の體を賣りまして、御返還し
申さうと思ひましても、何分急場の事
故間に合ひませぬで、如何したら
宜からうと思案に暮れて居ります所
へ、貴原が一杯機嫌で不出でになりま
したから、思案に餘つて一時其場を渡
いで、其上で金子を調達へ、實は是

目次
置い
能く
分統
ア如
細の
ば、
ア一
其
から
を渡
ない

○生徒募集

英漢數各科各學
へ隨時入學ヲ許
毎日午後一時ヨリ午後五
時迄夜授業ニ應ズ

京城旭町一丁目
京城學

龍
京學堂
旭町

級ス十時半
舍

れ、女の遊具へ蒙罪をしましめんとす。女は泣いて、考から……王に誠に出申陳べたさいませぬが、此上は貴殿の御存分なりましたから擲つてと笑くとも斬るにも御勝手に遊ばして下されまじと、好い加減の手を言つて謝罪しました其處へワットばかり泣附れました。

○料理は高麗にて別
○土産高麗には是等
○土地高麗には是等
○珠に大抵高麗には是等

貸 御料理
席 高和
田 樂

△米倉町 電九三二
○料理は高麗にて別
○土産高麗には是等
○土地高麗には是等
○珠に大抵高麗には是等

應侯會城世界萬國大園

廣 告

名譽經銷受領

キリンビール

仁川港

三邑醬油

釀造場

電 話 吉 富

萬壽醬油

龍山元町二丁目

佐藤 病專

電話一

院
科
番
-501-

印ルーシドルーゴ
 クルミ~~ス~~ンデンコ
 全圖利者
 蜂酒
 食料店
 萬舖販賣中

● 社会乳鉢レーボ市育經國者

諸願刑及登記申請書類
 民訟訴訟手続
 諸契社定款作成案
 諸家屋の測量製圖
 土地家屋の測量製圖
 土地家屋及動産買賣の部
 金銭貸借の仲介・債權
 債權一般務の整理
 貸家・賣買の仲介業務
 鐵山・賣買の仲介業務
 其他百般の事項

仲介
立取

右は迅速正確秘密を旨とし懇切に諸般の取扱を任し可申候向事件
 件に付ては電話で御報被下候得者直に事務員派遣可致候向事件
 拘御用命額上候
 京橋本町二丁目(民衆役所前)
京 城 信 託
 無限責任社員
 木中村 電話一五〇四
 松浦 孫

太 豆 五 三 番
 郎 信 造 社

